



## 外国出張報告書

平成 26 年 3 月 30 日

1. 出張国名        タイ
2. 出張月        平成 25 年 9 月～3 月
3. 出張目的        白葉病拡散リスク評価のための調査研究：B

#### 4. 成果の概要

総合防除プロジェクトでは、サトウキビの虫媒伝染病である白葉病に対する総合的病害管理（IPM）体系を開発することを目標としている。

本中期計画期間中には、本病の拡散リスク要因を推定するとともに、IPM 体系を構築するためのコンポーネント技術を開発することとなっている。

本出張では、これまでの同目的の出張に引き続き、白葉病の拡散動態を把握するための定点圃場調査を実施するとともに、拡散動態モデル開発に必要となるパラメータを推定するための室内実験を行った。

定点圃場調査の予備解析結果から、発病した株の多くは虫媒伝搬による感染である可能性が高いと考えられた。また、出芽時より発病していた個体の多くは生育途中で枯死するが、生育途中から新たに発病する個体も存在することを確認した。

室内実験では、媒介虫の 1 種であるタイワンマダラヨコバイによる虫媒伝搬率および温度別発育速度等の生活史パラメータの一部を明らかにした。